

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	水争いの歴史に終止符！先人の偉人に想いを馳せる
事業主体 (連絡先)	朝日村 (0263-99-2001)
事業区分	⑥ イ 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,366,200 円 (うち支援金：1,001,000 円)

事業内容

「五五・五七堰余水吐水門」について、看板・映像・冊子を作成して関係者はもとより、小学校の児童をはじめとする村民、また水争いや歴史的な遺構に関心のある村外者へもPRし、伝承していくことができた。

水門をはじめとする水路遺構と行事を後世に伝えるため、遺構の場所・内容について、村史談会から協力を得て紹介する看板の設置しました。

行事関係者やゆかりのある人へのインタビューや聞き取り調査を行い、また過去の文書や現在の水門の様子を含めて、水の歴史を振り返る映像番組を制作しました。

地元のイラストレーターに依頼して子どもでも関心を寄せやすい漫画仕立ての小冊子を作成しました。



【看板】

【目標・ねらい】

- ① 水争いの歴史を知ること、水のありがたみ、大切さをあら編めて実感することができる
- ② 歴史的遺構として村民にPRをすること
- ③ 地域の歴史を学ぶ小学生に学習のきっかけとなる漫画を作ることで学習が深くなることを目標とする。

事業効果

水門が村として重要な遺構であることを明確に示すための看板を設置することで、水門に対する意識が高まりました。

制作した番組により、これから先に農業に携わる若手や、村外から農業に従事するために転入してくる者へも、畑かんに対する意識を高めることができました。

冊子を社会学習の導入部で使用することで、これまでに以上に児童の関心が高まり、学習が進むことができました。

以上の看板・映像番組・小冊子により、農作業用水利に対する村民の「もったいない」「ありがたい」という意識を高めることができました。

今後の取り組み

今回、村が作成した冊子を来年度以降も朝日小学校の4年生に配布することで、今回の事業を継続的に生かしていく。

今回の水門の事案を契機に、村内で他にある水争いの歴史、関わった偉人について事業を展開していく。

※自己評価【A】

【理由】

村が想定していた以上に村内外からの問い合わせがあり、住民が関心を持つことと村がPRを進めることがマッチしている